

1. 件 名：九州電力株式会社玄海原子力発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年8月30日 13:40～15:55

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、平野室長補佐

(以下、テレビ会議システムによる出席)

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他7名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和3年10月1日に予定されている同社玄海原子力発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容
- ・ 能力向上を促す実効性のある訓練シナリオとして考慮した事項

原子力規制庁から、EALの判断に用いる計器が故障等した場合の代替パラメータの活用について、事業変更許可申請書における計装設備の代替パラメータとの整合性、代替パラメータによる推定の確からしさ、代替計器の信頼性等、その合理性や適切性を説明するよう伝えた。また、代替パラメータによるEAL判断について、ERC備え付け資料の充実化や防災業務計画の修正の必要性を検討するよう伝えた。

また、原子力規制庁より、緊急事態宣言が発令されているが、必要に応じて、緊急時対策所等へ要員を派遣することを伝えた。

九州電力株式会社から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と九州電力株式会社の訓練コ

ントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料：

資料1 玄海原子力防災訓練計画事前説明に係る面談（5週間前）時の確認事項